

とくさかわゆうすいち
木賊川遊水地整備工事

安全祈願祭を開催しました！

盛岡広域振興局土木部

一級河川木賊川の広域河川改修事業の一環として県が整備する木賊川遊水地の本格的な工事着手に先立ち、平成29年6月30日（金）に工事受注者（株式会社中村建設）が主催する安全祈願祭が行われ、約30名の参加者が無事故・無災害による工事の完成を祈願しました。

この河川改修事業は、滝沢市と盛岡市に跨がる木賊川の流域が大雨のたびに洪水被害に見舞われてきたことから、その治水対策として実施するものです。このうち諸葛川への放水路については平成23年度に完成していますが、このたび工事に本格着手する遊水地の整備と、その後に予定している木賊川の河川改修による3つの洪水調節機能を有する計画です。

これらの整備により、概ね50年に一度の割合で発生する大雨による洪水を安全に流下させることができるようになります。県では、今後も住み良いまちづくりの基盤となるこの河川改修事業の推進に全力で取り組み、安全・安心な暮らしの実現を目指します。

安全祈願祭の様子



神 事



工事の安全を祈願する出席者



宮野盛岡広域振興局長による歛入れ



㈱中村建設・中村代表取締役社長による挨拶

一級河川木賊川 広域河川改修事業について



河川改修事業計画図

3つの洪水調節機能を有する河川改修事業です！

- 放水路** 木賊川のバイパス流路を整備し、洪水時の流れを諸葛川へ導きます。
(平成23年度に完成しています。)
- 遊水地** 洪水を一時的に貯留し、下流への流量を調節します。
- 河川改修** 木賊川の断面を拡幅し、河川の流下能力を向上させます。

今回整備する木賊川遊水地の計画

	第1遊水地	第2遊水地	合計
調節容量	370,000m ³	90,000m ³	460,000m ³
遊水地面積	20.6ha	10.4ha	31.0ha
完了年度	平成35年度 (西暦2023年度)		
概算事業費	約42億円		

木賊川と諸葛川の流域（盛岡市と滝沢市に跨る地域）では、大雨のたび浸水による被害を受けてきました。このような状況を踏まえ、地域の方々が安心して暮らせるよう、浸水被害の解消に取り組んでいます。

これまでに発生した主な浸水被害

年月	原因	木賊川	諸葛川
昭和22年9月	台風等の長雨	約1.0m	0.3~1.8m
昭和23年9月	台風等の長雨	0.5~0.8m	0.3~2.0m
昭和41年6月	台風の大雨	約0.2m	0.1~1.5m
昭和45年	台風の大雨	—	約0.5m
昭和49年8月	台風等の長雨	約0.5m	約0.3m
昭和50年7月	台風等の長雨	約0.5m	0.1~0.3m
昭和54年8月	大雨	約0.5m	約0.1m
昭和57年9月	台風等の長雨	—	約0.2m
昭和58年8月	台風の大雨	—	約0.2m
平成7年8月	豪雨	約0.5m	—
平成14年7月	台風の大雨	0.2~1.0m	—
平成17年8月	豪雨	約0.5m	—



平成14年7月の被災状況

【上】盛岡市立北陵中学校付近（浸水状況）

【下】県営運動公園付近（市道の冠水状況）

木賊川の洪水被害の要因

流下能力の不足 川幅が狭く、しかも河道が曲がりくねっていること、さらに落差工や橋梁等の構造物が多いことが挙げられます。

流域の都市化の進行 短時間の降雨が急速に川へ流れ込むことに加え、下流域の両側に住宅が密集していることも要因です。

木賊川と諸葛川の流域における治水の状況

上記のとおり、木賊川と諸葛川では何度も洪水に見舞われてきました。特に平成14年の台風6号による洪水では、木賊川の越水や堤防が破堤したことにより、滝沢市穴口地区、盛岡市上堂地区を中心に広い範囲で浸水被害を受けました。（床上浸水：16戸、床下浸水：103戸、避難勧告戸数：1,253世帯、3,484人）

諸葛川は、下流側の区間の河川改修が完了したことにより、近年は洪水被害を受けにくくなっています。

また、木賊川については、諸葛川へ通じる放水路が完成したことにより、洪水被害を受けにくくなりましたが、さらなる治水安全度の向上を目指し、このたび本格的に遊水地の整備工事に着手しました。そして、この遊水地が完成した後は下流の河川改修に取り組めます。